

教育委員意見交換会

日時 令和6年3月25日(月) 午前10時45分～午後0時20分

場所 堺市役所 高層館20階 第1特別会議室

出席者 河盛幹雄委員、宮本功委員、新谷奈津子委員、長田翼委員

(事務局)長山秀基教育監

伊藤修士教委総務部長

森浦稔教職員人事部長 樋口信征教職員企画課長 志波政宏教職員人事課長

富岡重幸学校教育部長 永木里恵学校教育部部理事

高橋康浩学校保健体育課長 島原宏文教育課程課長 川端一生生徒指導課長

渡邊耕太教育センター所長 品川隆一能力開発課長

橋本宏司教育政策課長 森本恭明教育政策課長補佐 楠本奈央子教育政策課企画係長

案件

- ・令和5年度中学生チャレンジテスト(中学校1、2年生)の結果について
- ・学力向上に向けた取組について
- ・ウェルビーイング向上のための取組指針について
- ・令和6年度教職員人事評価における変更点について
- ・体罰根絶のために[第4改訂版]について
- ・いじめ防止対策について
- ・「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の堺市の結果について
- ・堺高校のあり方について
- ・(仮称)堺教育改革パッケージの策定について

・令和5年度中学生チャレンジテスト(1、2年生)の結果について

令和6年1月10日に実施した大阪府中学生チャレンジテスト(1、2年生)の本市の結果概要について説明。

(主な意見)

- ・学力低位層の子どもが増えていることに加え、学力上位層が減っている。各種調査でも同様の結果になっており、課題と考える。

・学力向上に向けた取組について

本市がめざす総合的な学力の育成にむけ、教員が教え込む授業ではなく、子どもが学ぶことを楽しみ、自ら学びを進める授業を実現するため、探究的に学ぶプロセスなどを組み込んだ授業モデルや総合的な学習の時間で活用できる実践事例集を作成し、学校への周知、実践を図ることを報告。

(主な意見)

- ・課題として認識している学力低位層に対する支援が必要と考える。1人1台パソコンを活用してドリルができるなど、それぞれの子どもが勉強できる環境はあるが、学力低位層の子どもの状況を把握して個別にどうアプローチをしていくか考えてほしい。

⇒それぞれの子どもの課題に応じた支援が必要と認識している。学校と連携し、どのような支援の取組が可能

か検討していきたい。

ウェルビーイング向上のための取組指針について

教育委員会事務局と学校園が共にめざす教職員・学校園の姿や成果指標、直ちに取り組むべき 9 つの重点取組を含む取組項目や取組の方向性、その具体的な方法を定めた取組指針を作成したことを報告。

(主な意見)

・特になし

・令和 6 年度教職員人事評価における変更点について

令和 7 年度以降、会計年度任用職員及び臨時的任用職員(講師)に対して勤勉手当を支給することに伴い、令和 6 年度以降、教職員人事評価の結果を勤勉手当へ反映すること及び人事評価制度の変更点等について説明。

(主な意見)

・市の制度と合わせていく方向性と思うが、実際に勤勉手当が増額となる職員数は限られるように思う。堺市で教員として働くことに魅力を感じてもらえるような制度となるよう検討してほしい。

⇒これまで勤勉手当反映の対象としていなかった講師を対象としたことは、モチベーションアップにもつながるものと考えている。人事評価制度については、常に見直しを行い、魅力の向上を図る。

・体罰根絶のために[第 4 改訂版]について

子どもたちを取り巻く環境が大きく変化し、子どもの多様化が進む中で、子どもたちそれぞれに応じた教育が求められている。本市で過去 5 年間に発生した体罰事案を分析し、その結果及びそれらを踏まえた対策を新たに掲載するなど「体罰根絶のために」の冊子を改訂したことを報告。

(主な意見)

・特になし

・いじめ防止対策について

いじめの未然防止や発生しいじめの重篤化防止のため作成した、本市におけるいじめ防止対策(①いじめの重大事態から学ぶ対応事例集②いじめアンケート③校内いじめ対策委員会に係る議事録)について、目的や運用方法について報告。

(主な意見)

・特になし

・「令和 5 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の堺市の結果について

「令和 5 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果概要及び分析結果について、報告。

(主な意見)

・子どもたちの体力を、実技の回数や記録の結果だけではなく、体育・保健体育の学習に取り組む力や心身の健康を保持増進する力等、多面的に捉えることは、重要であると思う。調査結果等を活用し、体力向上に向けた取組を前向きに進めてほしい。

・堺高校のあり方について

堺高校における今後の取組方針等について、検討状況等を説明。

・(仮称)堺教育改革パッケージの策定について

子どもたちにとってよりよい教育環境の実現に向けた意識を学校園と共有・実践することを目的とし、第3期未来をつくる堺教育プランをベースに、近年の教育に関する動向や国の方針等を加味・補完する「道標」や「指針」となるものとして、(仮称)堺教育改革パッケージの策定を検討しており、その状況について報告。

(主な意見)

・特になし